

細道兼光 ほそみちかねあき 政治家。明治二十九年十一月二十八年山口縣生乳。

昭和四十七年二月十一日歿（六六—九三）。大正十一年東京帝國大學

法學部卒。辯護士となり自由法曹團に加盟。十五年労働農民黨書記長、

昭和十七年小野田市長、二十一年衆議院議員（當選五回）。日本社會

黨所屬。

著書 『新労働黨樹ての提案』（大山郁夫・上村進合著、昭和四年八月

二十一日同人社）、『硝煙の中を馳驅して』轉向者・前線皇軍慰問報

告』（合著・大坪與一編、昭和十二年二月）『全日本司法保護事業

聯盟』司法保護事業報告』（一回想の河上肇）（合著・小林濯次他編、

昭和二十二年）二月十五日東京評論社）等。

